

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	かじがや障害者デイ・サービスセンター	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員25名） 契約者数 23名（平成25年3月31日現在）、延利用日数 5,340日		
収支実績	収入	支出	収支差額
	福祉事業活動 121,569,470円	福祉事業活動 121,569,381円	-1,621,269円
	自立支援費等 118,283,745円	人件費 75,481,428円	
	経常経費補助金 370,859円	事務費 20,591,416円	
	（指定管理料を含む）	事業費 7,265,338円	※指定管理料
	その他 2,914,866円	経理区分間繰入金 18,231,199円	68,792円
合計 121,569,470円	施設整備等 1,621,358円		
	合計 123,190,739円		
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 施設祭りや花壇作り、「かじがや通信」の地域商店への掲示を通じて深く地域に根付いており、幅広く活動ボランティアを集めることに成功している。 重度障害を持つ利用者の個別ニーズに配慮したサービス提供が行われ、安定した利用率と高い満足度を維持している。 		

3. 評価（評価段階：5～1.標準：3.加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・重度で複雑化する利用者の身体状況を考慮した各種多様なプログラムを利用者が楽しめるよう内容を充実させ提供方法を工夫している。 ・適切なサービス提供で、利用率も高く、利用者満足度アンケートではほぼ全ての利用者が満足していると回答している。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・年間計画に沿ったメンテナンスによる修繕や施設全体での節電・節水等により無駄のない経費支出をしている。 ・祝日運営と満足度の高いサービス提供が安定した利用実績と収入につながっており、経営状態は良好である。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) ・利用者ニーズに合わせた個別支援計画を策定し、個人ごとの手順マニュアルを作成して、どの支援員であっても同様のサービスを提供できるようサービスの標準化を図るとともに質の高いサービス提供を行っている。 ・利用者満足度調査の記載事項に対し、迅速に対応し、利用者・家族へ説明・承諾を得られるよう対応している。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) ・防災訓練に加えて、震災を想定した避難訓練や緊急連絡網を使用して家族への連絡訓練を行い、災害に備えている。 ・職員の資質の向上に努めるだけでなく、利用者の障害の特性に合わせたケア方法等の専門的な支援技術を利用者家族に指導している。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・各備品や消耗品等の補充点検や整理整頓は毎月計画的に行えるよう担当を配置する体制を取っている。 ・各種保守、点検について、業務委託により適切に実施されている。					

4. 総合評価

評価点合計	73	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準: C,A→90点以上,B→80点以上90点未満,C→60点以上80点未満,D→40点以上60点未満,E→40点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・重度重複障害の利用者が多く中で、障害特性や個別のニーズに配慮しながら、充実したプログラムがさらに楽しめるものになるように内容の工夫と提供方法の工夫を行っている。
- ・深く地域に根付き、幅広くボランティアを集めており、地域の市民との交流を推進している。
- ・利用者の障害の特性に合わせた専門的な支援技術を家族に指導する等、利用者家族への支援も充実している。
- ・利用者・家族、近隣住民及びボランティアとの良好な関係を築いている。引き続き、地域交流を進めることを期待する。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・満足度調査等により好評を得ている祝日開所をはじめとした充実したサービスが安定的に継続できるよう、サービス提供体制の確保に努めること。